



3月 調布幼稚園だより

令和6年2月28日



『一年間の成長を振り返って』

園長 山形美津子

子どもの畑の紅梅が満開になりました。気温の方は寒暖の差が激しい日が続き、春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。子どもたちの思い出がたくさん詰まった調布幼稚園での一年間が間もなく終わろうとしています。子どもたちは、調布幼稚園で友達と一緒に様々な遊びを楽しんだり、大きな行事に向けては友達と一緒に一つの目的に向かって力を合わせ、心を合わせて取り組み、達成感を味わったりしてきました。まもなく1年が経とうとしているこの時期、どの学年も子どもたちが成長したことが感じられ、頼もしく思います。

年少組は、入園して初めて家族から同年代の友達がいる幼稚園での生活が始まり、お家の人が恋しくなり「ママに早くお迎えに来てって電話して下さい」と職員室に来たりもしました。でも最近はそのようなこともなくなり、一年をかけて身に付けた生活習慣を土台にして自分の好きなことを見付け、気の合う友達と好きな遊びをしたり、クラスの枠を超えて活動できるようにもなりました。黙々と自分のしたいことに夢中になっている子を見ていると、まもなく訪れる年中組でも元気に頑張っておと声をかけたくくなります。

年中組は、いろいろな楽器を使った合奏に取り組み、保護者の方々に発表会をしました。子どもたちは、友達と気持ちを合わせて演奏するとこんなに揃ってこんなに気持ちがいいのだということを感じていたと思います。先日のしながわ水族館への遠足では、自分のことは自分ですということがとてもよくできていて、まもなく年長組になるという意気込みを感じさせてくれました。たくさんの魚や生き物、イルカショーなどを見て楽しみました。

年長組は、まもなく調布幼稚園の卒業を迎えます。先日はクラス毎に2つのチームを作り、ドッジボール大会をしました。毎日グラウンドでいろいろな運動遊びをして心や体を鍛えてきましたので、とてもたくましくなり、その成果がドッジボール大会で発揮されました。ボールの投げ方やよけ方など真剣に取り組む姿は、もう小学生のような力強さを感じました。卒業式の練習にも年長児らしい態度で臨んでいて、一人一人の自信にあふれた姿が頼もしい限りです。

このようにどの学年も子どもたちの成長を目の当たりにして修了を迎えることは、私たち教職員にとっても何物にも代えがたい喜びです。

今号が、今年度最後の園だよりになります。振り返ると、この1年間は「非認知能力」を育てることの重要性を繰り返し綴ってきました。園便り9月号でもお知らせしましたが、今、世の中は人工知能(AI)が普及し、人間の仕事を肩代わりするような時代を迎えています。このような時代にも生き抜く能力が「非認知能力」と言われています。「非認知能力」が高い人は「何かをやり抜く粘り強さ」や「自分の感情をコントロールする力」「計画を立てて実行する力」等が育っており、学ぶ土台がしっかりできているのです。この「非認知能力」が一番身に付くのは幼児期だと言われています。

「物事を好きになることの大切さ」、「自尊感情を高める活動」、「自分のよさを発揮しながら、友達と協力し合う行事のもつ意義」、「子育てにおいて『褒める』ことの意義」等々、「非認知能力」を育てる子育てについて述べてきました。特に、子どもたちが自信をもって生活できるようにするには、「褒め言葉」が重要な意味をもちます。幼児期の教育の重要性がますます高まってきていることを感じています。これからも幼児期にこそ育つ力の育成に努めてまいります。

最後になりましたが、今年も一年間、調布幼稚園の活動にご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございました。何よりも毎日、お子さんの体調を整え、暑い日も寒い日も送り迎えをし、お弁当を作って送り出して下さった保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

地域の皆様、いつも温かく見守って下さりありがとうございました。お陰様で、子どもたちは4月には進級、進学することができます。これからも子どもたちを見守って頂ければ幸いです。

3月の目標

全学年

- 寒さに負けず、園庭やグラウンドで固定遊具に挑戦したり、思い切り体を動かしたりして元気に遊ぶ。
- 日に日に暖かくなってきていることを感じとり、木々の芽吹きや花のつぼみ、開花など春の訪れに目を向け、興味や関心を広げる。
- 感染予防のため、マスクの着用及び手洗いうがいをしっかり行う。

年少組

- もうすぐ年中組になることを、楽しみにする。
- 今まで使ってきた遊具や用具を使ったり、身近な廃材や素材を使って遊びに必要な物を作ったりして遊ぶ。
- 自分の気持ちを表しながら、友達とかかわり、好きな遊びを友達と一緒に楽しむを味わう。
- 保護者の方や年中児、年長児に感謝の気持ちをもつ。

年中組

- 自分なりのめあてをもって遊び、自分の力を出して遊ぶ楽しさを味わう。
- 友達との遊びの中で、自分の思いを伝えたり、受け止めてもらった嬉しさを感じたりする。
- いろいろな遊びをする中で、友達とのつながりを感じ、遊びを進める。
- 家族や年長児など自分の周りの人に感謝の気持ちをもつとともに、自分たちの成長を喜び、進級することに期待をもち、楽しみにする。

年長組

- 残り少ない幼稚園生活を時間の見通しをもって行動するとともに、生活や遊びを十分に楽しみ、学年や学級の仲間と心を通わせ、楽しさを共有する。
- 卒業を意識し、小学校への関心と期待をもつとともに、自信をもって生活し、自分の成長を感じる。
- 皆で行う卒業式や課題に向かう構えや態度を身に付けていくとともに、緊張感をもって臨めるようにする。
- 園生活を今まで楽しく送ることができたことを感じ、先生や家族の方に感謝の気持ちを言葉や行動で表す。



うれしいひなまつり 童謡

作詞 サトウハチロー
作曲 河村光陽

あかりをつけましょ ぼんぼりに
おはなをあげましょ もものはな
ごにんばやしの ふえたいこ
きょうはたのしい ひなまつり

おだいらさまと おひなさま
ふたりならんで すましがお
およめにいらした ねえさまに
よくにたかんじよの しろいかお

きんのびょうぶに うつるひを
かすかにゆする はるのかぜ
すこししろざけ めされたか
あかいおかおの うだいじん

きものをきかえて おびしめて
きょうはわたしも はれすがた
はるのやよいの このよきひ
なによりうれしい ひなまつり

ひな祭りの食べ物

菱餅

菱餅の緑の餅はヨモギを入れ、「厄除け」の意味があり、白の餅は菱の実を入れ、「清浄」そして赤の餅はくちなしの入れ、「疫病よけ」の意味があります。



ちらし寿司

海老(長生き)、レンコン(見通しがきく)、豆(健康でまめに働ける)、など、縁起の良い海の幸、山の幸をちらし、願いを込めて作ります。

桃の節句は3月3日にお祝いする女の子の行事です。女の子の成長や幸せを願う意味が込められています。

調布幼稚園でも、子どもたちの成長と幸せを願って、男女を問わず、“ひな祭りの”お祝いをします。ひな祭りに向け、学年ごとに子どもたちは自分の雛人形を作ったり、♪うれしいひなまつりの歌を歌ったりして楽しみにしています。

さて、調布幼稚園の昇降口には新しいお雛様が飾られています。令和4年度、5年度、来年度卒業を迎える令和6年度の卒業生たちからの卒業記念品として昨年度頂いたものです。

これまで調布幼稚園の子どもたちを見守ってくれていたお雛様は、内裏雛を残し、三人官女などの人形は神社で供養してまいりました。

そして、もう一つ昇降口の棚の上には平安雛も飾っています。ハマグリの絵合わせを楽しんでいる姿から、昔の遊びの様子が伺えます。近隣の方に頂いた吊るし雛も飾っていますので、ぜひご覧下さい。

また、年長組はお雛様のお香合を飾った部屋で、お茶会をしました。お点前を見せて頂き、和三盆の甘いお菓子を頂いた後に、お抹茶を飲みました。お茶碗は『ももたろう』『かさこじぞう』『カチカチ山』『鶴の恩返し』など、20種類の日本昔話の絵が一つ一つの椀に描かれている清水焼のお茶碗で、子どもたちは「お茶碗を拝見しましょう」など言わなくても、隣同士で「私は〇〇のお話の絵だよ」など、話しながら拝見していました。おかわりしたいという希望も出るほど、お抹茶を美味しく頂きました。もうすぐ一年生になるという希望を胸に、お茶会の行事を通して、心静かにするひと時を過ごした年長児でした。

ご家庭でも、子どもたちの作ったお雛様を見ながら、春にはまた一つ学年が大きくなるお子様の成長を楽しみにして下さい。